



干潟小だより

7月号②
R3.7.15
児童数：260名



校訓 拓き 輝き 高め合う 干潟っ子
学校教育目標 考える頭 元気な心 強い体

授業参観 PTA 全体会 学級懇談会 ご参加ありがとうございました

お忙しい中、多数ご参加いただき感謝申し上げます。4月当初に全体会や懇談会ができなかったこともあり、担任やPTAの皆様とのつながりを大切にしたいという意義から、開催の判断いたしました。

授業参観での子ども達のご様子はいかがだったでしょうか。「道徳」が「特別な教科」になって4年目。授業を通して、子ども達が様々な考えにふれ、話し合いを通して、自己決定ができるよう、授業を進めています。



昨今の教育事情をふまえ、改めて心の教育の大切さを痛感しています。本来、心の教育は、教育活動全体を通じて行うものです。今後も、学校、家庭、地域がそれぞれの視点で、子ども達がより豊かに育つよう連携していきたいと願います。



また、夏季休業中に個別面談を行います。お子さんの学習面、生活面などのご様子をお伝えします。先日のお手紙でお知らせしましたとおり、今学期は面談があることで、通知表の所見（担任から）を記載しておりません。短時間ですが、面談が実りあるものになるよう、よろしく願いいたします。

ザンビア！がんばれ みんなで応援しましょう



ザンビアのオリンピック選手が来校し、水泳練習をすることはなくなりましたが、テレビ放映を通して、応援しましょう！！

Q 先生方に質問！好きな児童書を紹介してください

竹中 洋子 先生（5-1）

佐藤さとる著『だれも知らない小さな国』がおすすめです。ぼくとコロボックルという小人がいろいろな冒険に出かけるファンタジー小説です。本校の図書室にもあり、見つけたときはとても嬉しくなりました。

齊藤 礼子 先生（ひまわり）

『かたあしダチョウのエルフ』。かつて児童に読み聞かせしたとき、読みながら涙が出た思い出の作品。仲間を思い、戦った勇敢なダチョウのお話です。教科書にも掲載された作品です。ぜひ、親子で読んでみてください。

佐久間 祐子 先生（保健室）

おすすめの本は『電池が切れるまで ～子ども病院からのメッセージ～』です。病院の中には、重い病気で入院している子が学ぶ「院内学級」が併設されている所があります。そこに通った友達の素直な気持ちを表した詩が、たくさんおさめられている本です。病気と闘いながら、一生懸命に生き抜く姿に感動し、「いのち」の大切さを感じることができます。

育てることで学ぶこと

本年度も畑の先生の菅谷孝一様にご協力をいただき、1年生は「さつまいも」「あさがお」、2年生は「さつまいも」「やさい」を育てています。また、「落花生」「ツルレイシ」を育てている学年もあります。

最近、すっかり育った野菜を収穫する姿もみられるようになりました。「先生、私、ピーマン大好き。自分で育てたピーマンだと、いつもよりもっとおいしいね。」と収穫間際のピーマンを楽しみにしながら、笑顔で話しかけてきた2年生。作って食べる喜びが伝わってきました。おいしく食べてね！！



7月13日（水）は、雷などの危険により急な迎えをお願いしました。ご協力ありがとうございました。本学区は、市ハザードマップ「土砂災害」「津波」のどちらも警戒区域には入っていませんが、今回のような集中豪雨の場合は「河川洪水」の危険があります。今後も同様な対応をお願いする場合もあるかと思いますが、十分に気をつけてご来校ください。

さて、本校は「地震の指定緊急避難場所」であり、建物の安全性を確認後、体育館に避難する場所になっています。地震5強以上により、災害対策本部が設置され、市職員及び本校災害対策協力員（校長、教頭、教務）が速やかに対応します。さらに「指定避難所」にもなっており、居住できない方を収容する場所でもあります。

例年9月末に「干潟学区自主防災会」が、本校を会場に、救命救急訓練等を実施しています。本年度は9月26日に予定されています。



